

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ハローズ東加古川モール	階数	地上1F
建設地	兵庫県加古川市	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条地域	平均居住人員	1,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年10月 予定	評価の実施日	2020年6月13日
敷地面積	6,116 m <sup>2</sup>	作成者	松原 保美
建築面積	3,037 m <sup>2</sup>	確認日	2020年6月13日
延床面積	2,928 m <sup>2</sup>	確認者	松原 保美



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%  
②建築物の取組み 81%  
③上記+②以外の 81%  
④上記+ 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 2.9

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
メイン幹線道路に面する壁面は出来るだけ後退させた位置とし、周囲への圧迫感の軽減に配慮した計画とした。また、来客用に十分な駐車スペースを確保し、公共交通の流通性に配慮しました。	特にありません。	
<b>Q1 室内環境</b> 売場天井高さを5.0m確保し、ゆったりとした空間の創出に配慮。また、壁・天井の仕上材等に関してもF☆☆☆☆の材料を使用し、有害物質の発散を小さく抑える様に配慮。	<b>Q2 サービス性能</b> 維持管理しやすい設計や、非常時に発電機を使用するなどサービス性能に配慮。また、店内はバリアフリー仕様とし、来店客の移動をスムーズに行える様に配慮しました。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 計画敷地内には駐車場緑化を採用。また、出来る限りの屋根上緑化を計画し、周囲の環境に配慮して、良環境の創設・維持に努めます。
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明、空冷ヒートポンプの高効率機器を採用し、省エネルギー性能に配慮。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> グリーン購入法の節水型機器の採用で、資源・マテリアルに配慮	<b>LR3 敷地外環境</b> 空調機器はノンフロン冷媒を採用し、排熱に関しても直接道路に排出しない様に配慮しました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される